

平成 28 年度 港北区 運営方針

I 基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」

～区民の皆様とともに歩む区政～

II 目標達成に向けた施策

1 安心して暮らせるまちづくり

地域防災拠点や区本部体制の充実、情報発信強化、自助・共助による地域防災力の向上などの災害対策を進めます。
防犯、交通安全対策や、道路・公園等の適切な維持管理を通じて、区民の皆様の安心・安全を支えます。

協働で進めるまちづくり

区民の皆様との共感と信頼の関係を土台に、地区担当制などフットワークを生かしながら、自治会・町内会、団体、NPO、企業の皆様とのつながりを深め、協働により地域づくりを進めます。

2 活気にあふれるまちづくり

まちの魅力発信や健康づくりの推進、商店街の活性化を通じて、地域への愛着を深めるとともに、オープンデータ化の推進により、様々な主体と活気あふれるまちづくりを進めます。

3 地域で支えあう福祉のまちづくり

第3期地域福祉保健計画(ひっとプラン港北)を推進し、身近な福祉保健課題の解決に取り組みます。
子育て世帯から高齢者、障害のある方など、誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを進めます。

III 目標達成に向けた組織運営

行動指針

現場主義

私たちは、「区民の皆様の声を直接聴ける」という現場ならではの価値を生かし、課題解決のために行動します。

協働・共創

私たちは、地域協働の総合支援拠点として、自治会・町内会、団体、NPO、企業の皆様と共に、公共を創造します。

脱・前例踏襲

私たちは、何事も、社会環境・区民ニーズなど「状況」の変化に応じて、「目的」を達成するための「方法」を柔軟に選択します。

ベースとなる職員・職場の力

職員の力

一人ひとりが「4つの仕事力」を磨きます。

4つの仕事力

聴く力

区民の皆様の声を真摯に受け止め、ニーズを的確に把握します。

考える力

課題の本質を見極め、本来の目的にかなう解決策を考えます。

行動する力

課題解決のために、スピード感をもって、積極的に動きます。

伝える力

区民の皆様「に「伝える」ように、確かな説明力を磨きます。

職場の力

互いに成長できる職場づくりを目指します。

助け合う職場

課を越え、区を越え、「チーム横浜」の一員として、広い視野のもと、助け合います。

創造する職場

互いの知恵やアイデアを積極的に持ち寄り、新たな手法や施策の創造にチームで取り組みます。

おもてなしの職場

お客様目線による不断の業務改善や、応対スキルの向上に、職場をあげて取り組みます。

スマートな職場

効率的・効果的に仕事を進め、地球環境に配慮しながら、ワーク・ライフバランスを実践します。

1 安心して暮らせるまちづくり

● 災害に強いまちづくり

長期避難生活を見据えた地域防災拠点の環境改善、初期消火器具の導入による災害時の延焼防止対策、ツイッターなどの情報発信による自助・共助の啓発、災害時要援護者の支援や、緊急輸送路の整備や橋梁・下水道などの地震対策の推進

● 防犯・交通安全対策の推進

地域主体の防犯活動を支援する「港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦」や、交通安全の啓発を行う「交通社会 無事故でカエル事業」、地域と連携した放置自転車対策などの実施

● 安全で衛生的な暮らしの推進

食の安全や施設の衛生確保、動物の適正飼育啓発を行う「快適な暮らしの衛生応援事業」の実施

2 活気にあふれるまちづくり

● ウォーキングからはじまる健康づくり

「健康寿命日本一」を目指した「よこはまウォーキングポイント」等との連携による、ウォーキング関連イベントや健康測定会の開催、篠原城址等の地域資源を活用したウォーキングの推進

● 港北魅力発見事業

区内の魅力を発信する「オープンガーデン(お庭や花壇めぐり)」「オープンファクトリー(工場見学)」の実施と、第33回全国都市緑化よこはまフェア(29年春)に合わせた、花と緑によるまちの彩りや賑わいの創出

● 港北区商店街活性化事業

「こうほくの商店街ちよいつまみウォーク」や、小学生を対象とした商店街での職業体験イベントなどの商店街振興

● オープンデータ化によるまちづくりの推進

行政情報のオープンデータ化による、協働での地域課題の解決や、新たなビジネス創出等のまちづくりの推進

● 港北エコアクションの推進

地球温暖化対策(緩和策・適応策)、鶴見川を活かした環境学習、まちの美化・緑化や、3Rの推進

3 地域で支えあう福祉のまちづくり

● 「ひっとプラン港北」(地域福祉保健計画・地域福祉活動計画)の推進

身近な福祉保健課題を解決するための、第3期地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の推進支援

● 子育て支援の充実

保育所待機児童対策、地域子育て支援拠点及びサテライトの運営、育児不安解消や児童虐待防止など様々な子育て支援や、放課後キッズクラブ及び学童クラブの充実による「小1の壁」解消推進など、乳幼児期から学齢期まで切れ目のない支援

● 高齢者、障害児・者への支援

地域包括ケアシステムの推進、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)・障害者基幹相談支援センターでの身近な相談機能の充実、認知症への理解・支援、高齢者虐待の予防、介護予防活動への支援、障害理解の啓発・支援者向けの研修などの実施

● 生活にお困りの方への支援

生活保護制度による生活支援、就職を目指している生活保護受給者や生活困窮者に対するジョブスポット港北と連携した就労支援の推進

協働で進めるまちづくり

● 地域力支援チームなどによる協働の推進

地域とのつながりの構築・強化による、地域のニーズ・課題の共有と協働の推進

● 共感と信頼の行政の推進

協働の土台となる、区民の皆様との共感と信頼の関係を一層深めるための、行政サービスの充実

・信頼される行政サービスの提供

マイナンバー制度などに対応した、戸籍・住民票等の手続や諸証明の発行、税の賦課・徴収、公金の出納、国民健康保険・国民年金、医療費助成などの手続・相談などの行政サービスの正確・丁寧な提供、未収債権の収納率向上による財源の安定的な確保

・住民サービスの向上

広報よこはま区版やホームページ、統計情報など、区民生活に身近な行政情報の的確な発信やオープンデータ化によるまちづくりの推進、区役所・公共施設の環境改善による利用者の快適性の向上

・職員の仕事力向上

「CS向上研修」「人権啓発研修」「男女共同参画推進研修」等による区民満足度の向上

平成 28 年度

港北区内で行われる主な整備事業



©横浜市港北区ミズキー

平成 28 年 4 月 港北区役所

目 次

■ 鉄道・道路・橋りょう

| | | |
|---|------------------------------------|---|
| 1 | 神奈川東部方面線の整備 | 1 |
| 2 | 鉄道駅可動式ホーム柵整備事業 | 2 |
| 3 | 新羽車両基地高架下・屋上有効活用の事業化推進 | 2 |
| 4 | 横浜環状道路及び関連街路の整備 | 2 |
| 5 | 都市計画道路の整備 | 2 |
| | (1)川崎町田線(大熊・新羽地区) | |
| | (2)宮内新横浜線(新吉田高田地区) | |
| | (3)宮内新横浜線(新吉田地区) | |
| | (4)新吉田線 | |
| | (5)横浜上麻生線(小机駅南口地区) | |
| ◇ | コラム 東京丸子横浜線(綱島街道)の拡幅整備に向けた事業着手の検討 | 2 |
| 6 | 地域道路の整備(道路改良) | 3 |
| 7 | 橋りょうの長寿命化の推進 | 3 |
| 8 | 河川施設の老朽化対策 | 3 |
| ◇ | コラム 鶴見川の橋梁に関する検討 | 3 |
| ◇ | 28年度整備予定の道路位置図：横浜環状道路及び関連街路、都市計画道路 | 4 |
| | ：地域道路 | 5 |

■ まちづくり

| | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 日吉台小学校第二方面校(仮称)の整備 | 6 |
| 2 | 新綱島駅(仮称)周辺等のまちづくり | 6 |
| 3 | 菊名駅におけるバリアフリー化の推進 | 7 |
| 4 | 新横浜駅南部地区のまちづくり | 8 |
| ◇ | コラム Tsunashima サステイナブル・スマートタウンの整備 | 8 |

■ 上下水道の整備

| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 下水道の整備 | 9 |
| | (1)下水道管の整備 | |
| | (2)水再生センター等の整備 | |
| | (3)未整備地域の解消(再掲) | |
| 2 | 上水道の管路の更新・耐震化 | 9 |

■ みどり

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 公園の再整備・改良等 | 10 |
| 2 | 地域緑のまちづくり事業 | 10 |
| 3 | 特別緑地保全地区指定等に伴う施設の整備 | 10 |

■ 施設

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 文化施設整備事業 | 11 |
| 2 | 公共建築物の長寿命化対策 | 11 |

■ 防災

| | | |
|---|-------------|----|
| □ | がけ地の防災対策の強化 | 11 |
|---|-------------|----|

■ 鉄道・道路・橋りょう

1 神奈川東部方面線の整備

「相鉄・JR直通線」(西谷～羽沢間)は、西谷駅や羽沢駅、JR線との接続部である横浜羽沢駅構内改修工事のほか、軌道、建築、機械、電気的设计及び工事を進めます。

「相鉄・東急直通線」(羽沢～日吉間)は、羽沢トンネルの掘削など、羽沢駅から日吉駅間の全区間において、本格的に工事を実施します。

神奈川東部方面線の路線概要図



相鉄・JR直通線(西谷～羽沢間)

整備延長：約2.7km

事業費：約782億円

開業予定時期：30年度内

整備主体：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

営業主體：相模鉄道(株)

相鉄・東急直通線(羽沢～日吉間)

整備延長：約10.0km

事業費：約1,957億円

開業予定時期：31年4月

整備主体：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

営業主體：相模鉄道(株)、東京急行電鉄(株)

2 鉄道駅可動式ホーム柵整備事業

東急電鉄株式会社は、32年を完成目標に東急東横線など64駅におけるホームドアの設置を決定しました。区内では、東横線日吉駅・綱島駅・大倉山駅・菊名駅・妙蓮寺駅で設置が予定され、横浜市も国や県とともに支援を行います。

区内では27年度に整備した下りホームに引き続き、東急東横線菊名駅の上りホームと東急東横線の日吉駅にホームドアを設置する予定です。

3 新羽車両基地高架下・屋上有効活用の事業化推進

市営交通中期経営計画(27～30年度)に基づき、新羽車両基地の高架下及び屋上の有効活用について、28年3月に貸付に向け開発事業者の公募を開始しました。約6か月間の公募期間後、審査等を経て、28年中に事業予定者を決定します。

4 横浜環状道路及び関連街路の整備

横浜環状北線の本線や新横浜出入口の整備を進め、28年度末に開通する予定です。また、関連街路についても整備を進め、横浜環状北線の開通に合わせて長島大竹線も開通する予定です。

5 都市計画道路の整備

(1) 川崎町田線(大熊新羽地区)

大竹交差点及び新羽十字路交差点の改良による暫定整備を進めます。

(2) 宮内新横浜線(新吉田高田地区)

新吉田地区から日吉元石川線までの960mについて、早淵川渡河部の橋りょう下部工工事及び一部道路整備工事を行い、残る用地取得を進めます。

(3) 宮内新横浜線(新吉田地区)

既に完成している新羽地区から新吉田線との合流地点付近までの350mについて、設計、測量及び用地取得等を進めます。

(4) 新吉田線

第三京浜道路都筑インターチェンジと宮内新横浜線を結ぶ1,260m区間について、地元調整及び関係機関協議等を進めます。

(5) 横浜上麻生線(小机駅南口地区)

小机駅南口の駅前広場2,700㎡について、地元調整、設計及び用地取得を進めます。

◇コラム 東京丸子横浜線(綱島街道)の拡幅整備に向けた事業着手の検討

東京丸子横浜線(綱島街道)のうち日吉駅前から大綱橋までの区間で、道路を拡幅整備する事業の早期着手に向け、28年度は測量や設計などを実施します。

6 地域道路の整備（道路改良）

川向第 39 号線（大竹道路）について、26・27 年度に用地取得した箇所において拡幅工事に着手するほか、引き続き用地取得等交渉を進めます。

また、横浜生田線、綱島第 243 号線、新吉田第 441 号線について、引き続き測量、用地取得等交渉を進めます。

7 橋りょうの長寿命化の推進

橋りょうを計画的かつ効率的に維持管理するため、引き続き矢上川橋と樽綱橋等の耐震補強工事を行います。国際競技場大橋については補修工事を行います。

また、引き続き新横浜駅篠原口地下道南側において、エレベータ設置工事を進めます。

8 河川施設の老朽化対策

老朽化対策として、計画的な維持修繕工事を実施します。28 年度は砂田川の護岸の補修工事を行います。

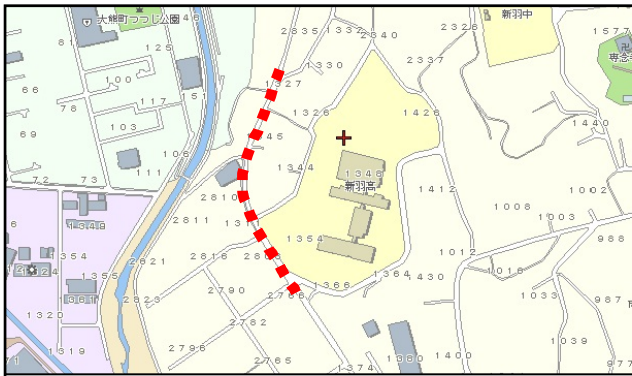
◇コラム 鶴見川の橋梁に関する検討

鶴見川には、橋梁間隔が広い箇所が残っていることから、27 年度に交通計画・まちづくり・防災などの観点で、鶴見川中下流域の橋梁間隔検討調査を実施しました。その結果をもとに 28 年度は、港北区の新羽橋から新横浜大橋間及び鶴見区の新鶴見橋から末吉橋間において、橋梁を架ける場所や規模などの検討を進めます。

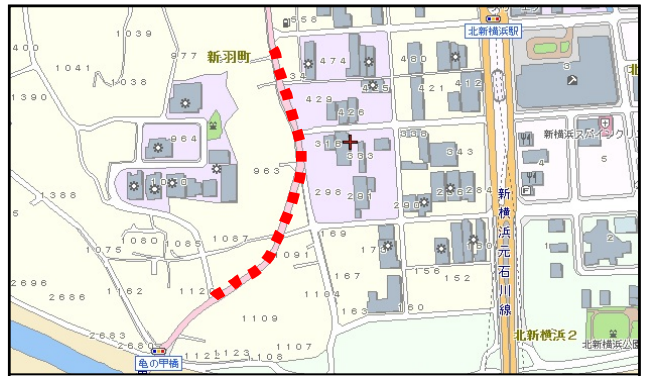
◇ 4 横浜環状道路及び関連街路の整備 5 都市計画道路の整備における
28 年度整備予定の道路位置図



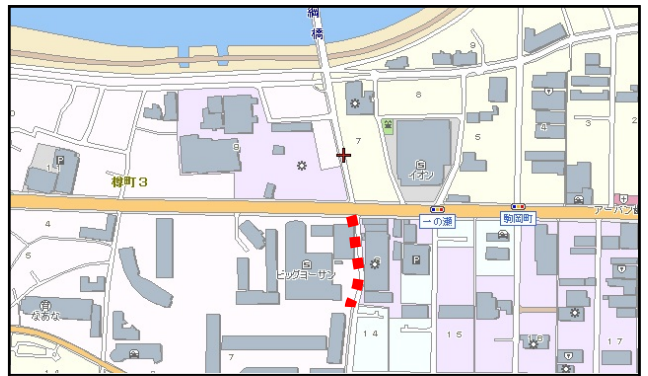
◇ 6 地域道路の整備（道路改良）における
28年度整備予定の道路位置図



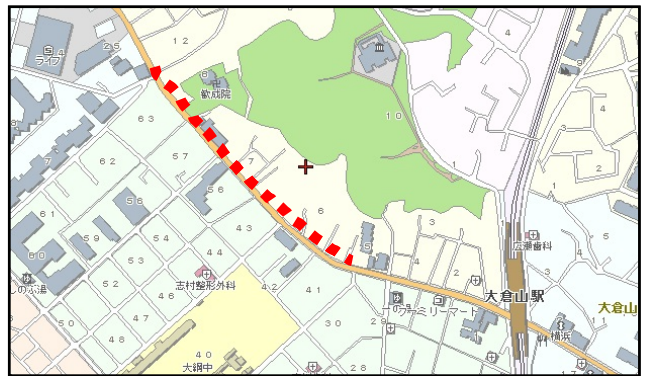
川向第 39 号線(大竹道路)



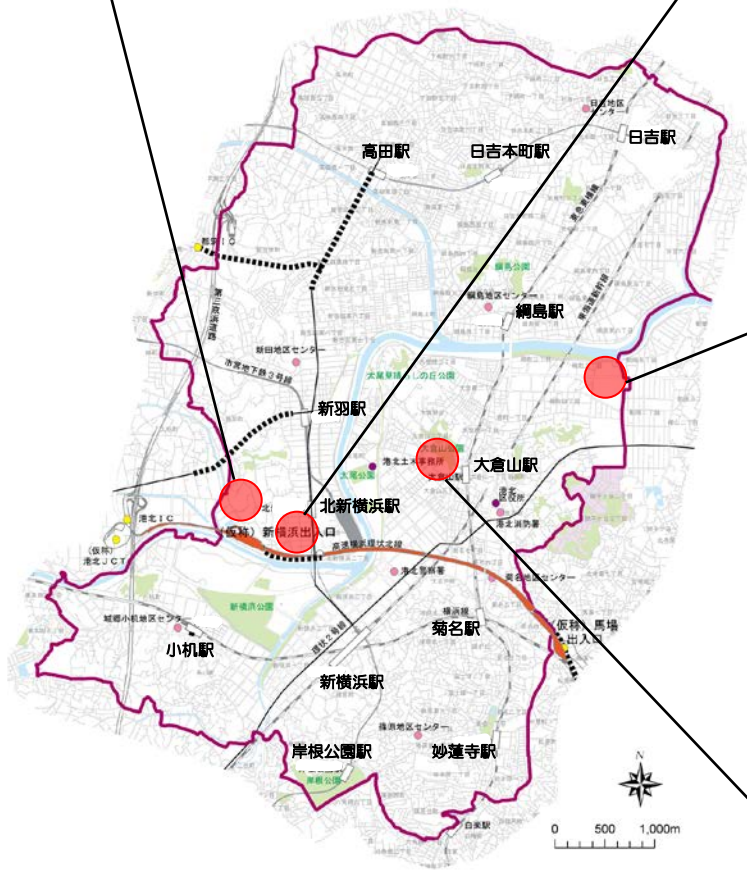
横浜生田線（新羽町南台町バス停付近）



網島第 243 号線(ビッグヨーサン東側)



新吉田第 441 号線(エルム通り、オリーブ通り)



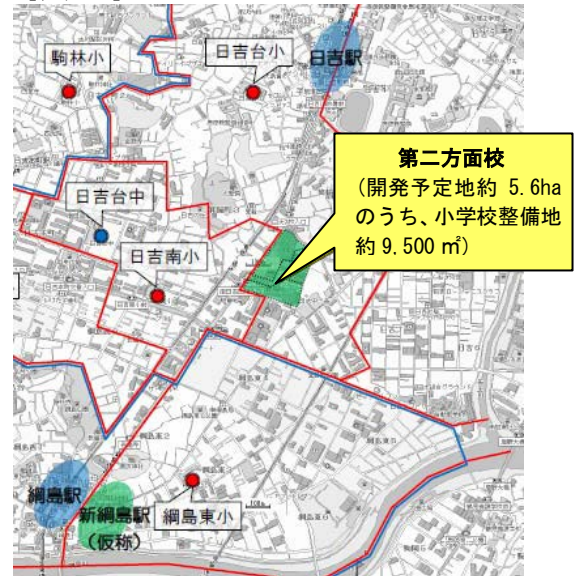
■ まちづくり

1 日吉台小学校第二方面校（仮称）の整備

日吉台小学校の通学区域内では、工業地からマンションなどの住宅地への転換が進んでいます。住宅開発に伴い、児童数が急速に増加することが見込まれるため、小学校を新たに整備するための用地取得に向けて、土地所有者と協議を進めています。28年度は、用地取得に向けた協議を進めるとともに基本設計を行います。

なお、周辺は野村不動産（株）と関電不動産（株）による住宅を核とし、商業施設などの生活利便施設などが一体となった大規模複合開発が行われる予定です。

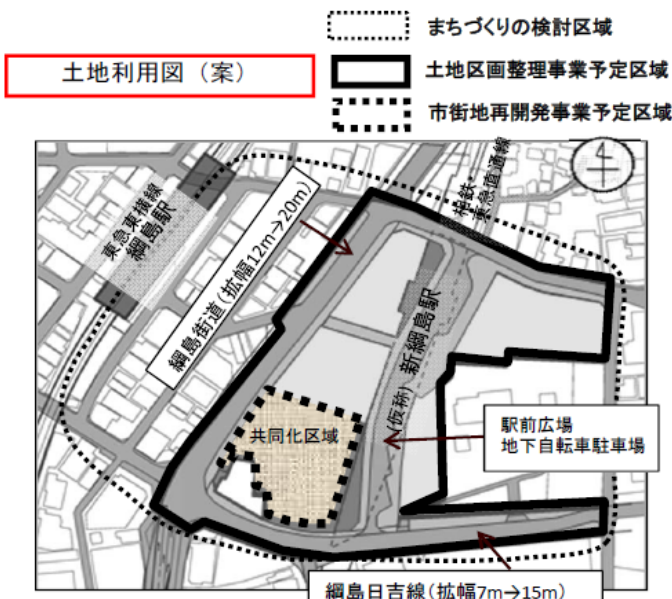
【位置図】



2 新網島駅（仮称）周辺等のまちづくり

神奈川東部方面線（相鉄・東急直通線（P 1 参照））の新駅となる（仮称）新網島駅の整備にあわせて、ターミナル機能の強化と都市計画道路等の拡幅などの都市基盤施設の整備や、駅前のポテンシャルを生かしたまちづくりを推進します。

28年度は、都市計画決定し、その後、土地区画整理事業については、事業計画決定及び用地取得を行うとともに、市街地再開発事業については、組合設立認可に向けて基本設計等を行います。



【土地区画整理事業の計画】（予定）

| | |
|------|---------------------|
| 施行者 | 横浜市 |
| 施行面積 | 約 2.7ha |
| 施行期間 | 28年度～32年度 |
| 総事業費 | 約 57 億円 |
| 公共施設 | 都市計画道路、 地下自転車駐車場 |

【市街地再開発事業の計画】（予定）

| | |
|------|------------------------------|
| 施行者 | 組合 |
| 施行面積 | 約 0.6ha |
| 施行期間 | 28年度～31年度 |
| 総事業費 | 約 158 億円 |
| 主な施設 | 商業施設、都市型住宅 公益施設（区民文化センター） |

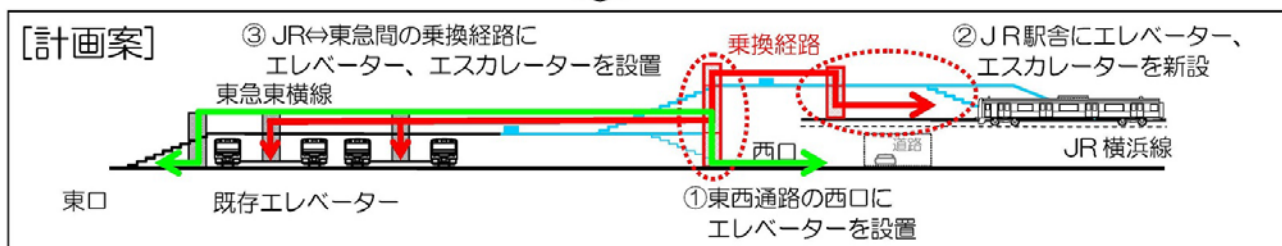
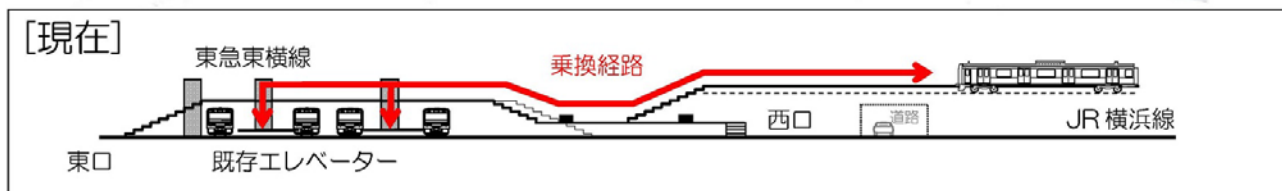
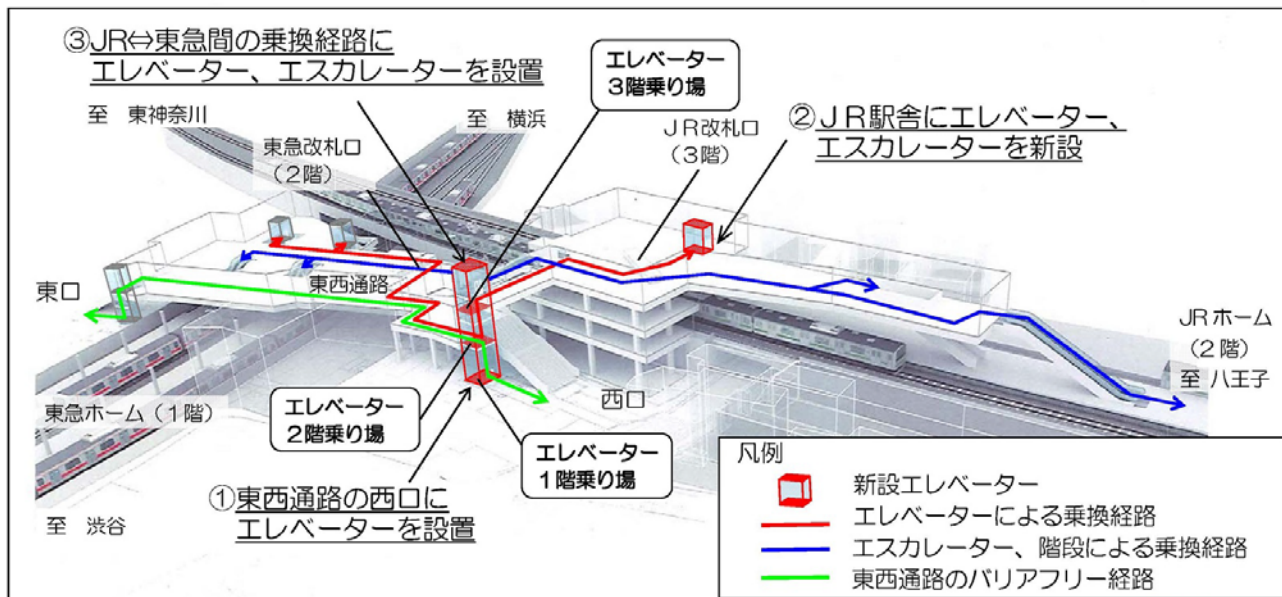
3 菊名駅におけるバリアフリー化の推進

菊名駅東西通路について、バリアフリー化のための工事を行います。

【施 行 者】 JR東日本、東急電鉄、横浜市

【事業年度】 22年度～30年度（29年度供用開始予定）

【事業内容】 JR横浜線菊名駅駅舎のバリアフリー化・・・JR
 JRと東急の乗換通路整備・・・JR・東急
 東西自由通路のバリアフリー化・・・横浜市・JR・東急



4 新横浜駅南部地区のまちづくり

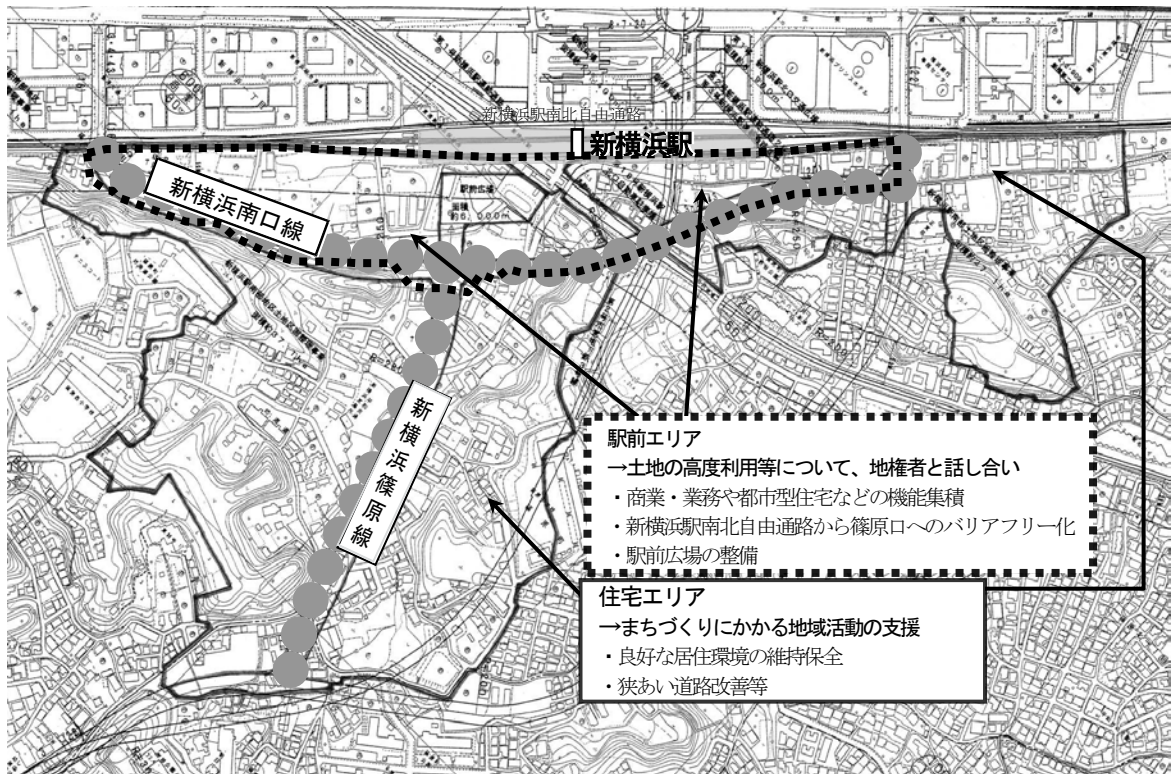
地域の合意形成を重視したまちづくりを進めていきます。

駅前エリアのうち駅直近エリアでは、事業の具体化に向けて、地権者と話し合いを進めます。

駅直近エリア以外についても都市計画道路の見直しを含め、当地区のまちづくりの全体像を検討します。

さらに、篠原町地区において、引き続き水洗化に向けた下水道管の整備を行います。

新横浜駅南部地区 新たなまちづくりの考え方

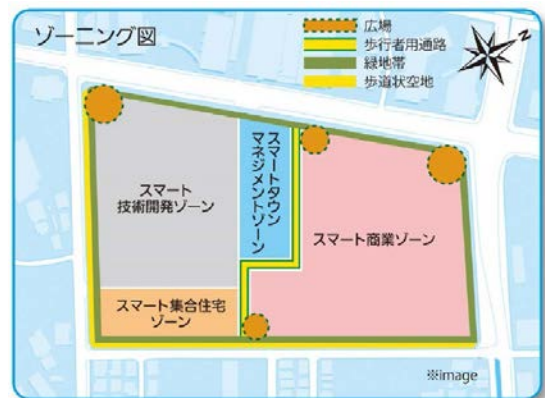


●●●●● 都市計画道路の見直し
→現在の地形、宅地の高低、現況道路の位置などを考慮

◇コラム Tsunashima サスティナブル・スマートタウンの整備

綱島東四丁目のパナソニック事業所跡地（約 37,900 m²）で、パナソニック、野村不動産（株）などが開発を進めています。平成 30 年頃までに、環境配慮型のタウンマネジメント拠点や米アップル社の技術開発施設、商業施設、集合住宅の開発が予定されています。

■土地利用計画ゾーニング



■ 上下水道の整備

1 下水道の整備

(1) 下水道管の整備

鶴見川流域市街地の浸水に対する安全を確保するため、新吉田東地区等において、枝線下水道管の整備を進めます。

また、災害時における地域防災拠点のトイレ機能を確保するため災害時下水直結式仮設トイレ（災害用ハマッコトイレ）の整備や地域防災拠点につながる下水道管の耐震化を進めます。

(2) 水再生センター等の整備

港北水再生センター等において、設備や土木施設の再整備を進めます。



▲港北水再生センターと鶴見川(航空写真)

(3) 未整備地域の解消

篠原町において、水洗化に向けた下水道管の整備を進めます。

2 上水道の管路の更新・耐震化

昭和40年代に布設し、更新時期を迎えているこれらの管路を中心に、老朽化した配水管を計画的に耐震管に更新するとともに、新たな管網を整備します。

また、災害時に重要となる拠点施設につながる管路や腐食性土壌[※]に埋設された管路については、優先的に更新し、効果的な耐震化や漏水事故の予防保全を図ります。

※腐食性土壌

100万年前に海だった地層で、腐食性の強い粘土質の土壌



▲水道工事の市民向けPR(水道局リーフレット)

■ みどり

1 公園の再整備・改良等

篠原東三丁目公園ほか1公園でリフォーム(全般的な施設改良)を行い、小机町宮原公園ほか3公園で遊具などの改修を実施・検討します。

2 地域緑のまちづくり事業

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

28年度は、錦が丘地区において、策定した緑化計画に基づき、引き続き民有地及び公共施設の緑化を推進します。

3 特別緑地保全地区指定等に伴う施設の整備

特別緑地保全地区等の指定・買取りに伴い、管理に必要な柵等の施設整備を行います。

■ 施設

1 文化施設整備事業

区民の皆様が身近に文化芸術に接し、個性豊かな文化芸術活動を活発に行うことができる環境整備のため、身近な拠点となる区民文化センターを新綱島駅前地区第一種市街地再開発事業の中で整備します。

28年度は、27年度に基本構想検討委員会で検討された「横浜市港北区における区民文化センター基本構想」をもとに、内装の基本設計を行います。

2 公共建築物の長寿命化対策

市民が安心して市民利用施設等を利用できるよう、港北公会堂や日吉地区センター、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールなどで、建築物や設備の保全対策を行います。

■ 防災

□ がけ地の防災対策の強化

横浜市では、27年1月から土砂災害警戒区域内にあるがけ地を対象に、専門家と連携して「がけ地現地調査」を進めています。港北区は、28年度中に土砂災害警戒区域内にある約940か所のがけ地の現地調査を行い、その結果を踏まえ「土砂災害警戒情報の発表とともに避難勧告を一斉に発令する対象区域」を更新します。

さらに、神奈川県と連携した急傾斜地崩壊対策事業により、がけ地の改善を促進していきます。



発行：港北区役所 区政推進課 企画調整係

電話：540-2230 FAX:540-2209

